

介護士のイメージアップ

1. 動機と背景

介護士という職は心身ともに大変だという印象を持たれがちであるが、今後の隠岐の高齢化に伴う介護士の必要性を考えたから。

さらに、世の中ではあまり良い社会的イメージを持たれていないように感じ、イメージアップをしない限り、今のままでは介護士が増えることがないと思ったから。

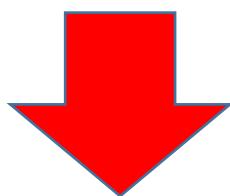
2. 現状

他の職業に比べ、あまり良いイメージを持たれていなく、高齢者に対する介護士の人数が足りていないのが現状。

3. 願い

隠岐の島の高齢化に伴い、介護士を増やしていき全島民が安心して生活できる住みやすい町にする。

また、進路を決めなければならない中高生に介護士の良さを知ってもらい介護士に就く人を増やしていきたい。



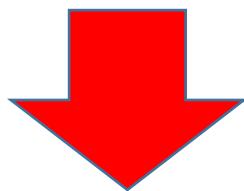
アルバムとポスターを作製

介護施設の温かい雰囲気や介護士の職について中高生に興味をもってもらえるようなものにする。

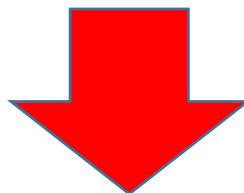
介護士さんに行ったアンケートより

《 大変なこと 》

- 認知症などを持った利用者さんと意思疎通が出来ないときがある
- 腰痛や膝を痛めるなどの体力面の疲労
- 介護拒否をされて介護がなかなかできないとき
など...



私たちが持つイメージ通り心身ともに大変！



社会では、大変なことの方が一般的なイメージとして定着してしまっているので、介護職の良いところを伝えて、介護士のイメージとして良いイメージも定着するようにしたい。

《 イメージアップにつながること 》

- 人生の先輩方から教わることが多い、人生の糧になる
- 年配の方々から暖かく可愛がってもらえる
- 時間内に帰ることができる
- 利用者さんの笑顔を見ることができる
など...

4. 取り組み

- ①職員の方にインタビュー
(仕事内容や施設での取り組みなど)
- ②職員の方にアンケート調査
(この仕事に就いた理由など)
- ③ゴールに必要な情報の収集
- ④介護士と利用者さんが施設で活動しているときの
写真を撮影
(アルバム作製のため)
- ⑤成果物作り

5. 今後の活動予定

完成したアルバム、ポスターを隠岐島内の施設に
配布し、展示してもらおう。

アルバム → 中学校、

ポスター → 中学校、高校、図書館、汽船場



介護支援事業所
ふれあい五箇 代表 池田真理香さん